

# Photoshop Techniques

1年 小宮

## 1. 概要とか

PhotoshopCS5 体験版に手を出してはや数十日、誰もが認めるその優秀な編集能力でどんなことが出来るのかという一例を挙げていこうかなーと。背景を作ったり画像を加工したり、何かと便利なソフトなので体験版からでもお試しあれ。加工だけなら基本的に絵心は必要ないので、絵は苦手って方にもオススメできます。

## 2. 体験版を使ってみよう。

Photoshop を持っている人は良いですが、買うとなると結構なお値段がするので、まずは体験版使ってみましょう。

- I. PhotoshopCS5 公式サイト (<http://www.adobe.com/jp/products/photoshop/compare/>) にアクセス。
- II. CS5 Extended の方の下にある「体験版」をクリック。
- III. 「日本語」になっていることを確認して「今すぐダウンロード」をクリック。
- IV. AdobeID を求められるので、持ってない人はここで作っときましょう。無料。
- V. 手順に従って ID を作ったら、ID とパスを打ち込んでサインインをクリック。
- VI. ポップアップが表示されてダウンロード作業が始まります。
- VII. ダウンロードしたファイルを実行してインストールします。

長ったらしく手順書きましたが、基本画面に表示されている手順通りに進められれば何とかかなります。何とかならなかったらパソコンの詳しくそうな人たちに聞きましょう。

## 3. 便利なフィルター機能

基本的な画面の説明とかは省略します。勘弁して下さい。作業量的に僕が死んでしまいます。分からない単語があったら Google で検索をかければ基本的に出て来るので、検索を使ったりヘルプ見たりしましょう。

ここではメニューにある「フィルター (T)」の項目について重点的に触れたいと思います。

そもそもフィルターってなんぞ？

フィルターというのは画像に様々な効果を加えられる便利な機能です。これを組み合わせるだけでも一つの画像を作ったりすることも出来ます。次ページから便利なフィルターをいくつか紹介していくので参考にして下さい。

### I. 「フィルター」→「描画」→「雲模様1」

描画色と背景色に合わせて、雲のような模様を画像に描画します。

下では描画色「黒」背景色「白」でやっています。下の画像は実行例です。

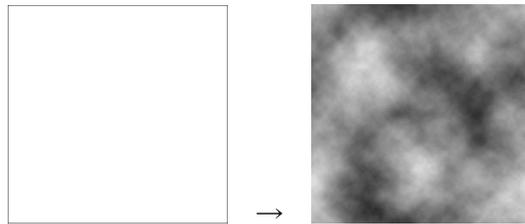


図1. 雲模様1 実行例

何の役に立つの？ と思いがちなフィルターですが、これを元に加工して様々な効果を出す、という技が幾つかあります。サイバーチックな画像を作るときとかは結構多用します。

### II. 「フィルター」→「ぼかし」→「ぼかし (ガウス)」

ぼかす強さを設定して画像をぼかします。全体を馴染ませたりゴマかす時とかに使います。「半径」の数字が大きいほどぼかしの強くなります。プレビューを参考にしながら使いましょう。人間関係でもぼかしが大切ですね。

左下図は実行例、右下図はフィルター実行時の設定画面です。



図2. ぼかし (ガウス) 実行例及び設定画面

### III. 「フィルター」→「ピクセレート」→「モザイク」

モザイクのドットの大きさを設定して画像にモザイク加工をかけます。

僕がこれを使うときは後に紹介する「輪郭検出」と組み合わせて使うことが多いです。

左下図は実行例、右下図はフィルター実行時の設定画面です。



図3. モザイク 実行例及び設定画面

#### IV. 「フィルター」→「表現手法」→「輪郭検出」

画像の輪郭部分だけを検出し、残りの部分をゴッソリ削ります。

モザイクと組み合わせるとグリッド状の画像になるので、これを使ってデジタルな雰囲気  
の画像を作ったり出来ます。

下では輪郭をちょっとハッキリさせるためにトーンカーブをいじっています。実際に使  
うときも弄ることが多いです。

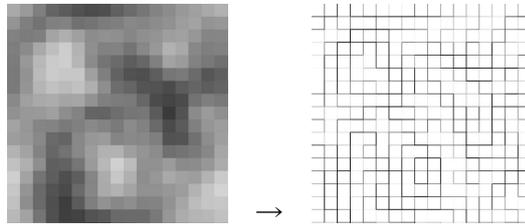


図 4. 輪郭検出実行例

## 4. 簡単なツール集

### I. グラデーションツール

右のツールバーからこのマークを選択するとグラデーションツールを使うことが出  
来ます。この時上に表示された設定バーから諸々の設定を行ない、画像にグラデーショ  
ンを描画することが出来ます。基本的に描画色から背景色へとグラデーションします。  
以下は実行例です。

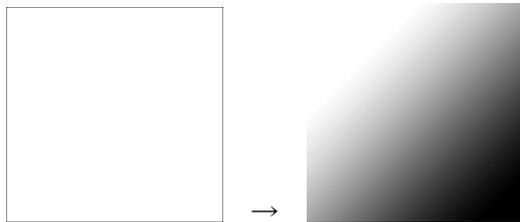


図 5. グラデーションツールの使用例

### II. 「編集」→「変形」→「自由な形に」

選択箇所を自由に伸縮したりすることが出来ます。単純に直感で操作できるので  
様々な場面で扱えます。

### III. 「イメージ」→「色調補正」→「カラーバランス」

画像の色合を調節します。僕は最初に灰色で形を作ってからコレを使って色を付け  
ることが多いです。

以下が設定画面です。



図 6. カラーバランスの設定画面

#### IV. 「イメージ」 → 「色調補正」 → 「トーンカーブ」

画像の階調をこの独特なカーブを弄って調整します。明るくするときはカーブを膨らませ、暗くするときはカーブをへこませる感じです。絵を描く人も良く使いますが、慣れるまでは取っ付き難い機能です。

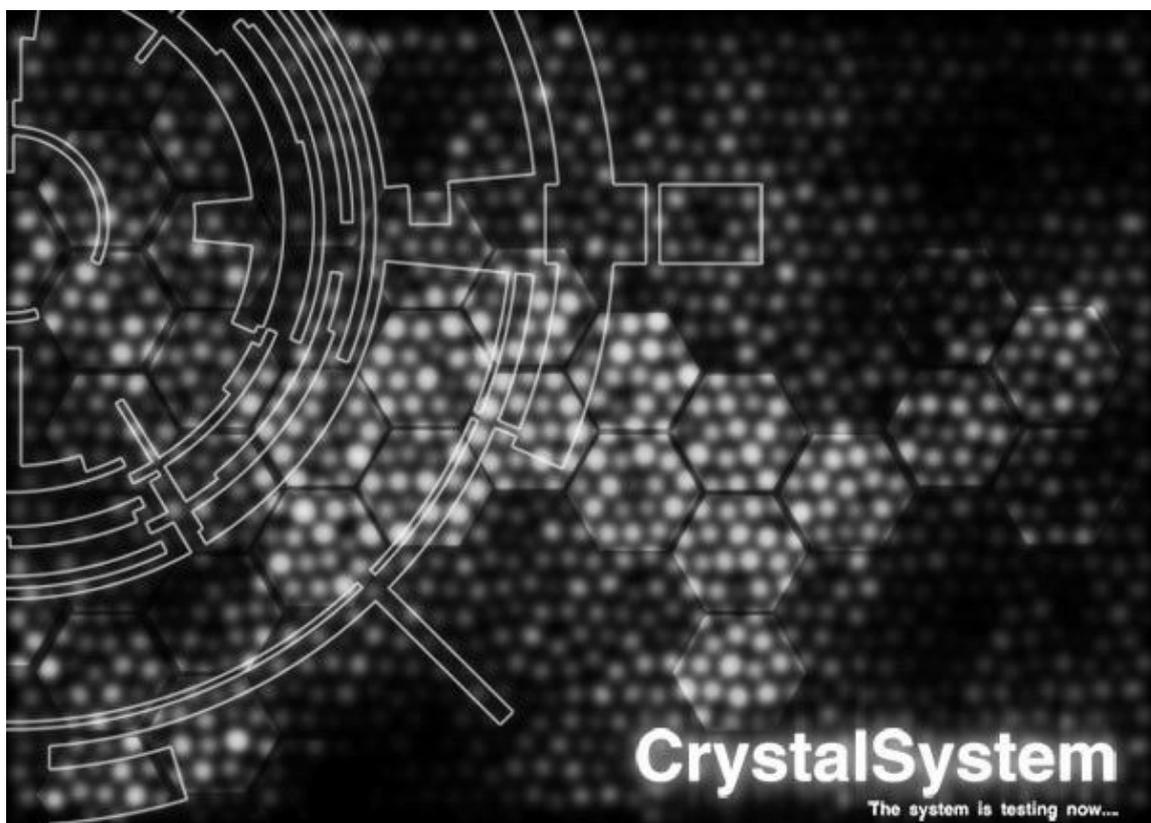
以下がトーンカーブ設定画面です。



図 7. トーンカーブの設定画面

#### 5. 終わりに

ほんの一例だけになってしまいましたが、これを組み合わせればちょっとした画像は作れちゃいます。本当に便利なソフトなので、色々と試してみてくださいポテンシャルを引き出しましょう。最後に色々見ながら作って見た画像を載せて締めくくり。



左の円形パーツは Illustrator の素材を使っています……。他の部分は Photoshop で出来るので色々試してみよう。上で挙げたテクニックもかなり使っています。

Thank you for your reading!!